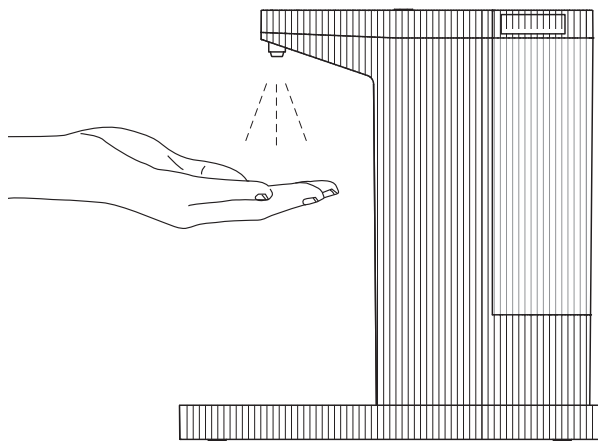


アルコールディスペンサー「オートケア」

# AUTOCARE

1000ml

## 取扱説明書

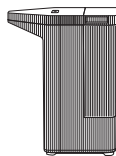


このたびは、アルコールディスペンサー「AUTOCARE（オートケア）」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

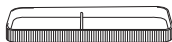
本製品をお使いいただくときは、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

※本書の内容は予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。※製品改良の為、予告なく外観または一部仕様を変更する場合があります。※本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。

## パーツリスト



本体

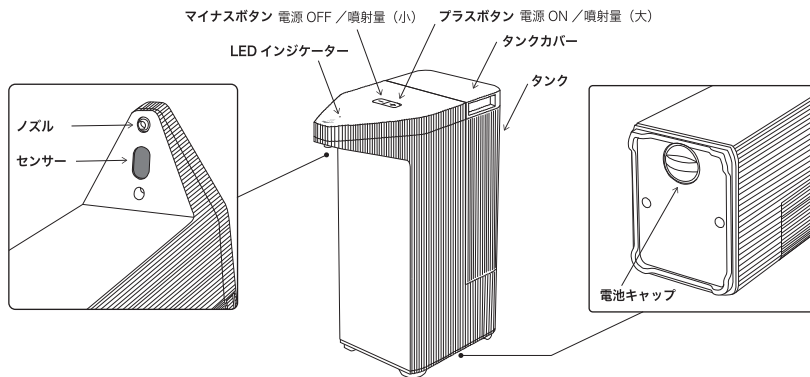


トレイ



取扱説明書

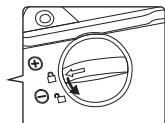
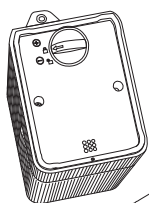
## 各部名称



付属のトレイは本体の下に置き、受け皿としてご使用ください。

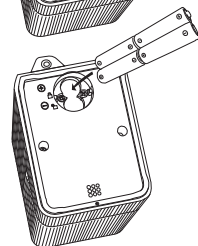
## 電池の入れ方

1



本体底面にある電池キャップを反時計回りに回してロック解除します。

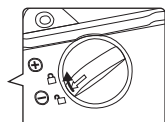
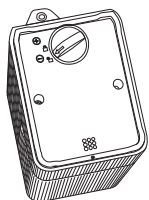
2



マイナス面から入れてプラス面が上にくるように入れる

プラス面から入れてマイナス面が上にくるように入れる

3



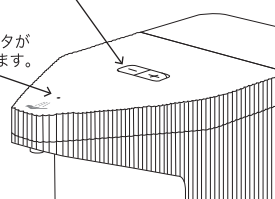
電池キャップを時計回りに回してロックします。

## 電源の ON・OFF の方法

**電源 OFF**

マイナスボタンを3秒間長押し

LED インジケータが1回赤く点滅します。

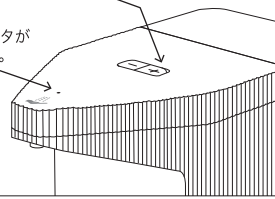


マイナスボタンを3秒間長押しすると、LED インジケータが赤色に1回点滅し、電源 OFF 状態となります。電源 OFF 状態時にセンサーに手をかざしても消毒液は噴射されません。

**電源 ON**

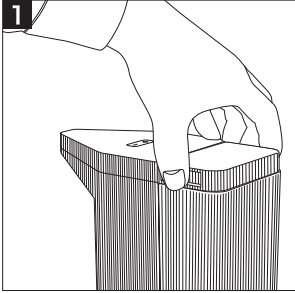
プラスボタンを押す

LED インジケータが緑色に1回点滅。



電源 OFF 状態時にプラスボタンを押すと、LED インジケータが緑色に1回点滅して、電源 ON 状態となります。噴射量は電源 OFF 状態にする前の噴射量が維持されています。

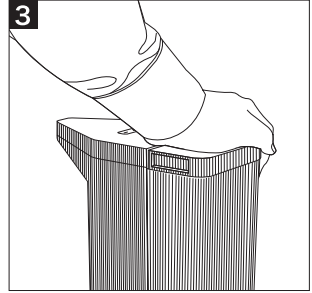
## 消毒液の補充方法



タンクカバー側面のくぼみに指をかけて、上に引っ張るような感覚でフタを開けます。



タンクに消毒液を注ぎます。(約1000mlまで)



タンクの真上から、タンクカバーでフタをします。手のひらでタンクカバーのセンターをぐっと押してください。

## 噴射量を変更するには

噴射量は約0.5ml・約1mlの2段階に設定できます。

マイナスボタン

プラスボタン

マイナスボタンを押すと噴射量が小(約0.5ml)になります。  
プラスボタンを押すと噴射量が大(約1ml)になります。

## 電池についてのご注意

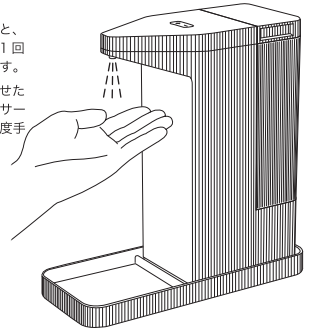
電池残量が少なくなるとLEDインジケータが赤く点滅しますので、新しい電池に交換してください。

LEDインジケータ

## ご使用方法

手をかざすと自動で消毒液が噴射されます。

- ・ノズルの下に手をかざすと、センサーが手を感知し、1回分の消毒液が噴射されます。
- ・消毒液をもう一度噴射させたい場合は、一度手をセンサーの下から抜いて、もう一度手をかざしてください。



※消毒液を入れたばかりのときは、噴射されるまで数回動作させる必要があります。消毒液が出てくるまで、ノズルの下に手を出し入れしてください。  
※長時間使用しない場合は内部の消毒液が蒸発して、出始めの噴射量が少なくなります。もう一度手をかざして消毒液を噴射させてください。

## 製品仕様

本体外寸	約 W92xD180xH229mm (本体のみ) 約 W100xD228xH19mm (トレー)
素材	ABS (本体・トレー)、PC (タンク) TPE (脚)、シリコン (パッキン)
重量	本体：約 670g (乾電池除く) トレー：約 110g

電源	単3アルカリ乾電池×4本 (別売)
タンク容量	1000ml
動作環境	温度：5～35℃ 湿度：30～80% (非結露)
保存環境	温度：-10～55℃ 湿度：5～80% (非結露)

## お手入れについて

- ・製品の安全や性能を保つため、定期点検・清掃作業をおこなってください。
- ・長時間使用していない消毒液は、新しいものと入れ替えてご利用ください。
- ・ノズルの詰まりを防ぐために、1ヶ月に1回タンク内の消毒液を捨て、水またはぬるま湯を入れて10回程度噴射させ、内部を洗浄することをおすすめします。その後、きれいな布でタンク内の水分を取り除いたり、直射日光を避けてよく乾燥させてから、消毒液を入れてください。

※熱湯での噴射は火傷しますので、絶対にお止めください。

※水での内部洗浄後、手指消毒の際に、チューブ内に残った水が出る場合があります。数回噴射させると、消毒液が噴射されます。

- ・本体は防水ではありませんので水洗いしないでください。汚れた場合、清潔な布でふき取ってください。
- ・トレーは水洗いできます。汚れた場合は水洗いしたあと、清潔な布でふき取ってからご使用ください。
- ・保管の際は、乾電池を本体から取り外し、消毒液を取り出してください。
- ・消毒液の詳しい廃棄方法については、ご使用中の消毒液メーカーにご確認ください。

## 故障かな？と思ったら

電源が入らない	電池が入っているか、消耗していないか、またセットする方向が間違っていないか確認してください。 本体上面のLED部が点滅した場合は、電池を交換してください。
センサーが反応しない	手がセンサーの感知部に入っていない可能性があります。センサーの下から一度手を抜き、位置を変えてみてください。
	センサー部分が汚れている可能性があります。本体の電源を切るあるいは電池を抜いてから、乾いた布でセンサー部分を拭き、もう一度おこなってください。
	一度噴射すると、センサーに手をかざしたままでは、続けて噴射しません。 センサーの下から一度手を抜き、もう一度、センサーにかざしてください。 プラス・マイナスボタンを押してもLED部が緑に光らない場合は電池を交換してください。
消毒液が出ない	消毒液が入っているか確認してください。消毒液は、液体タイプのものを使用してください。ジェルタイプのものは、噴射部が詰まってしまうため、使用できません。
	ノズルが詰まっているかもしれません。「お手入れについて」の説明にしたがって、ノズル内の洗浄をおこなってください。

## 必ずお守りください

## 安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。本製品をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

※次のピクト表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

▲は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容。⊗は、してはいけない「禁止」内容。Ⓛは、必ず実行していただきたい「強制」内容。

**⚠ 危険** この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。

- ⊗ 本製品はアルコールを使用しますので、火気は絶対に近づけないでください。やけど、破裂、発火、火災の原因となります。
- ⊗ 消毒後の濡れた手を火気に絶対に近づけないでください。やけど・火災の原因となります。
- ⊗ 本製品を高温になる場所（火のそば、ストーブ、炎天下）、換気のできない場所での使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ⊗ 本製品を分解、改造しないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電・けがの原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。
- Ⓛ 電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

**⚠ 警告** この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

- ⊗ 本製品は液体タイプのアルコール手指消毒専用です。液体タイプの手指専用消毒液以外の液体は使用できませんので絶対に投入しないでください。事故や故障の原因となります。
- ⊗ 本製品は、幼児や子供だけの使用や動物への使用はしないでください。事故やけがの原因となります。
- ⊗ センサー部をのぞきこむとセンサーが作動し消毒液が噴射されますので、センサー部に顔を絶対に近づけないでください。万が一目に消毒液が入った場合は、すぐに流水で洗い流し、その後、医師の診察を受けてください。
- ⊗ 本製品に水や消毒液をかけないでください。漏電による感電や火災、故障の原因となります。
- ⊗ 本製品を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い衝撃を与えないでください。強い衝撃を与えると本製品が破損することがあり、火災や感電の原因となります。
- Ⓛ 消毒液を補充する場合は、タンクから消毒液のあふれやこぼれに注意してください。床や壁に消毒液が付着した場合、すぐにふき取ってください。
- Ⓛ 消毒液を補充する場合は必ず本製品の電源を切ってから消毒液を補充してください。本製品を移動・運搬する場合、消毒液を完全にふき取ってからおこなってください。事故やけがの原因となります。
- ⊗ 消毒液は絶対に飲まないでください。健康を害するおそれがあります。
- Ⓛ 消毒液の取扱いについては、消毒液の説明内容を守ってください。  
——電池の取扱いについて——
- ⊗ 電池は単3形アルカリ乾電池を使用し、他の電池は使用しないでください。また、電池の＋を逆に使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こし、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- Ⓛ 電池の液をぬめた場合には、すぐうがいをし医師に相談してください。
- Ⓛ 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす可能性がありますので、すぐに多量の水通水などのきれいな水で洗なしてください。
- Ⓛ 長期間使わないときは、本製品から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより電池を漏液、発熱、破裂や本製品を破損させるおそれがあります。
- ⊗ 新しい電池と使用した古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池が漏液、発熱、破裂したり、けがや機械故障の原因となります。
- Ⓛ 使い切った電池はすぐに本製品から取り出してください。使い切った電池を本製品に接続したまま長期放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本製品を破損させるおそれがあります。
- Ⓛ 電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したり、けがや故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意事項にしたがってたく使用してください。

**⚠ 注意** この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- ⊗ 本製品の上に物を乗せたり、くらいついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本製品を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをおそれがあります。